

2025 年度化学産業論講座アンケート結果

1, 化学産業論講座の評価（受講者総数：288 人）

設問	評価点 全受講者平均
講義を受けて化学産業（企業）への関心は上がりましたか？ （ 5：上 ⇄ 1：下 ）	4. 3
講義は難しかったですか？ （ 5：難 ⇄ 1：易 ）	3. 4
講義全体に対する満足度は？ （ 5：上 ⇄ 1：下 ）	4. 2

2, 講義の感想（抜粋）

（1） 大阪公立大学

- ✓ 今回様々な企業のお話を聞いて、大学院での研究と企業での研究開発との間には大きな違いがあることが毎講義で感じました。このような機会でないことができなかった各企業の努力であったり、開発までのプロセスであったりを知ることができ、非常に貴重な時間でした。実際に志望してみたいと思える企業や知らなかった企業にも出会え、さらに多くの企業のお話を聞いてみたいと思いました。素材製造の苦労や、製造での苦労、事業化・工業化する上での苦労や量産化での苦労などを知ること、日々私たちが使用している製品一つ一つが努力の結晶であることが身に沁みて感じました。
- ✓ 各企業の方のお話を聞くだけでもそれぞれの企業の雰囲気を感じることができて面白かったです。講師の中でもある企業の方が特に楽しそうに研究について話されていたので、印象に残っています。
- ✓ 化学産業論の講義を通じて、化学の基礎から応用まで幅広く学ぶことができ、特に環境への配慮や持続可能な開発の重要性について深く考えさせられました。最新の技術革新や産業のトレンドを知ることで、実際のビジネスや研究にどのように結びついていくのかを見極める助けとなりました。また、化学が日常生活や社会に与える影響を理解することで、自分自身のキャリア選択や今後の学びに対する意欲が高まりました。この講義は、知識を深めるだけでなく、問題解決能力や批判的思考を養う貴重な機会でした。
- ✓ 企業の研究開発職に就きたいと言っても、大学での研究とは異なり、事業としてニーズがあるか、新規の顧客の獲得、顧客との取引の維持のためのマーケティングや営業の仕方や、大量生産ができるほどの規模まで大きくした上で十分に利益が出る程度のコストで抑えることなど、考慮をする必要がある要素が多いことが分かりました。

（2） 東京大学

- ✓ 化学産業というのは大学にいと中々想像しづらい、大きなスケールの話であったため、非常に勉強になった。大学を卒業し、自身の専門を仕事に活かすことになれば間違いなく化学産業について知っておくことは重要であるため、今回の講義で化学産業についての理解を深められたことは有意義であったと思う。

- ✓ キャリアを考える上で、化学系の企業に進んだ人たちからの話を聞いたことは非常に良かった。普段は触れる機会の少ない産業構造や技術革新、環境への配慮といった視点についても丁寧に解説され、化学が社会と深く関わっていることを改めて実感した。また、講義の中では実際の企業事例や最新の動向も紹介されており、今後の進路選択や研究への関心を高めるきっかけにもなった。全体を通じて、化学の知識が産業や生活とどのようにつながっているかを学ぶ貴重な機会となった。
- ✓ 未来社会が直面する課題の多くに化学が関わっており、逆に言えば、化学技術なしにはこれらの問題は解決できないのだと実感しました。技術革新だけでなく、それを社会にどう届けるか、どう実装するかまでが重要であるという点も、これから進路を考える上で大きなヒントになりました。
- ✓ 企業がどのように社会に対して化学を価値付けているのかを知ることができたのは大変良い機会だった。利益を追求するだけではなく、化学を課題解決に生かしていくことの重要性を感じられた。
- ✓ 今後大学院に入学する予定ですが、「ただ何となく大学院に行く自分」に対し、深く反省し、今回の講義を聞いて、自分の将来のふるまい方や、「社会の中の一員、研究者の一員としての自分」を改めて考える良い機会となりました。
- ✓ 化学が現在そして未来の社会において果たすべき役割の大きさと多様性を強く実感しました。これまで自分は化学を「分子を理解するための学問」として見ていましたが、講義を通じて、化学がエネルギー、環境、産業、そして社会全体とどのように密接に関わっているのかを、より広い視野で捉えることができるようになりました。

(3) 神戸大学

- ✓ 研究室レベルでの研究と、実際の工場などでの研究との間には大きなギャップがあることを実感し、大変勉強になった。私の行っている研究は理学的な基礎研究であるため、特にその差が大きいと感じた。今後は、研究を進めるにあたって化学工学の視点も取り入れながら研究を進めていこうと思う。
- ✓ 全7回の講義を通して、化学メーカーの製品化までの流れや研究開発職、生産技術職がどのような仕事をしているのか、企業での研究の面白さなど様々なことを知ることができました。特に、企業の研究では、顧客のニーズに合わせた製品の開発やコスト、安全性を考慮した技術開発が求められるという点が非常に勉強になりました。将来メーカーで研究職に就きたいと考えているため、多角的な視点をもって柔軟な考え方で新しいアイデアを生み出せるよう、多様な分野の知識を吸収していきたいと思います。
- ✓ 教科書的な化学ではなく、より産業やビジネスといった形の化学に触れることができ、化学産業に対する興味や認識が深まった。化学産業が扱う製品を考えたときに材料や素材といったような化成品とはあまり接点をもてず、正直に言えばあまり名前を知らない企業も多かった。そういった企業に対する理解を深めることができたことも良い勉強になったと感じている。
- ✓ 研究室でもたくさんのことを学ぶことができますが、講義を通して、また別の視点から研究について考えることができました。この学びをこれからに活かしていきたいです。
- ✓ とてもわかりやすい講演が多く、日本の化学産業および化学企業が抱えている悩みや問題などを知ることができ、自身の今後のキャリアに必ず役に立つ情報をたくさん知れたと思います。この授業を履修して良かったです。